

札幌市入力原稿図作成要領

2006年11月 改訂

(財)道路管理センター札幌支部

【 地形編 】

目 次

1、行政界	-----	1
2、地番	-----	1
3、家屋	-----	2
4、家屋名	-----	2
5、街区	-----	3
6、河川	-----	3
7、鉄道	-----	3
8、私道	-----	3

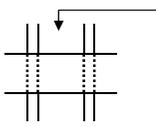
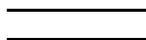
札幌市入力原稿図作成要領（地形編）

データ項目	使用する資料	表示（物件データ）		転記等の必要性	備考																																																				
		表示形式	色																																																						
行政界	素図	市界 --- 区界 --- 市街化区域	赤 赤	無																																																					
地番 (地名)	素図	中央区・南区（赤） 南10条西8丁目 （赤）	茶	場所を考慮し茶のアンダーラインを転記する。	<p>1) 1図葉1ヶ所の区名であれば茶のアンダーライン不要（道路を跨がず極力空白地を選ぶ） 2) 条丁目</p> <p>左図のように1メッシュ全てが同一市及び区のため市名区名は不要、条丁目は極力横書きとし右側の例のみ縦とすると（ ）のような出力となる。 札幌市、中央区入力不要</p> <p>左図のように条丁目が原稿図で道路を跨いでるヶ所は極力道路を避けた空白地で尚かつ区域の中央部に近いヶ所に配置する。</p>																																																				
		河川名・鉄道名（赤） 公共目標物名	茶 茶で囲む	アンダーライン		<p>豊平川・JR函館本線等の名称を茶のアンダーラインを引く。</p> <p>下表のみ茶で囲む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標物名</th> <th>備考</th> <th>区分</th> <th>目標物名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道庁等</td> <td>道庁・支庁・教育庁・開発局（建設部）</td> <td></td> <td>運輸・労務</td> <td>陸運局・气象台・労働基準局（監督署）・職業安定所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市役所</td> <td>市役所・区役所・区民センター・区連絡所</td> <td></td> <td>農林・水産</td> <td>食料事務所・営林局・農業試験所</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">文化施設等</td> <td>美術館・資料館・図書館・各文化会館・記念館</td> <td rowspan="3">公立のみ</td> <td>医療・衛生</td> <td>国公立病院・保健所・急病センター</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民会館・福祉センター・青少年会館（センター）</td> <td>警察</td> <td>道警本部・警察署・派出所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植物園・動物園・放送会館（ホー）</td> <td>消防</td> <td>消防局・消防署・出張所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スポーツ施設等</td> <td>体育館（センター）・運動場・競技場・球場・公園</td> <td>公立のみ</td> <td>郵便</td> <td>郵政局・郵便局</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学校等</td> <td>大学・短期大学・高等学校</td> <td rowspan="2"></td> <td>交通機関</td> <td>JR駅・地下鉄駅</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校・小学校</td> <td>外国公館</td> <td>領事館</td> <td></td> </tr> <tr> <td>税務・法務</td> <td>税務署・裁判所</td> <td></td> <td>仏閣</td> <td>神社・寺</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	目標物名	備考	区分	目標物名	備考	道庁等	道庁・支庁・教育庁・開発局（建設部）		運輸・労務	陸運局・气象台・労働基準局（監督署）・職業安定所		市役所	市役所・区役所・区民センター・区連絡所		農林・水産	食料事務所・営林局・農業試験所		文化施設等	美術館・資料館・図書館・各文化会館・記念館	公立のみ	医療・衛生	国公立病院・保健所・急病センター		市民会館・福祉センター・青少年会館（センター）	警察	道警本部・警察署・派出所		植物園・動物園・放送会館（ホー）	消防	消防局・消防署・出張所		スポーツ施設等	体育館（センター）・運動場・競技場・球場・公園	公立のみ	郵便	郵政局・郵便局		学校等	大学・短期大学・高等学校		交通機関	JR駅・地下鉄駅		中学校・小学校	外国公館	領事館		税務・法務	税務署・裁判所	
区分	目標物名	備考	区分	目標物名	備考																																																				
道庁等	道庁・支庁・教育庁・開発局（建設部）		運輸・労務	陸運局・气象台・労働基準局（監督署）・職業安定所																																																					
市役所	市役所・区役所・区民センター・区連絡所		農林・水産	食料事務所・営林局・農業試験所																																																					
文化施設等	美術館・資料館・図書館・各文化会館・記念館	公立のみ	医療・衛生	国公立病院・保健所・急病センター																																																					
	市民会館・福祉センター・青少年会館（センター）		警察	道警本部・警察署・派出所																																																					
	植物園・動物園・放送会館（ホー）		消防	消防局・消防署・出張所																																																					
スポーツ施設等	体育館（センター）・運動場・競技場・球場・公園	公立のみ	郵便	郵政局・郵便局																																																					
学校等	大学・短期大学・高等学校		交通機関	JR駅・地下鉄駅																																																					
	中学校・小学校		外国公館	領事館																																																					
税務・法務	税務署・裁判所		仏閣	神社・寺																																																					

札幌市入力原稿図作成要領（地形編）

データ項目	使用する資料	表示（物件データ）		転記等の 必要性	備 考
		表示形式	色		
家屋	素 図		黒	無	
家屋名	素 図		黒	無	<p>1) 2図葉の接合部の家名は原則的に同一名称となる</p> <p>2) (株) は省略する</p> <p>3) 難しい名称は、できるかぎりひらがなをふる（家名はくずさず読み易い字で表示する）</p> <p>4) 規模の大きな市営・道営団地は、市営○○団地と地域の中央に表示し各棟は、棟番号とする</p> <p>5) 日本国有鉄道・日本電信電話公社・日本専売公社は、JR・NTT・日本たばこと記入する 基本図の家名名称省略例ではなく入力原稿図としての省略例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>6) 団地の場合の記入例</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>7) マンションの記入例</p> </div> </div> <p>8) 公共的建物の省略例</p> <p>9) フルネームで入れるもの</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市・区役所・道庁 ② 図書館・美術館・文化施設 ③ 官公庁(法務・税務・医療・衛生・運輸・労働・警察・消防・郵便) ④ 外国公館 ⑤ 交通機関(駅) ⑥ 学校(小・中・高・大・専門)

札幌市入力原稿図作成要領（地形編）

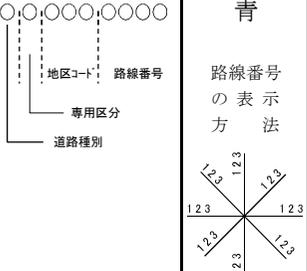
データ 項目	使用する資料	表示（物件データ）		転記等の 必要性	備 考
		表示形式	色		
街区	素 図			無	アンダーパス、橋梁の下方路線は、破線（黒）で表示する 
河川	素 図		紫	無	
鉄道	素 図	1条線 	黒	無	既成図でレール各々2本で表示されているものは、センターを青で引き直す  （入力は、一点破線）
私道	素 図		黒	無	
			-		

【 道路編 】

目 次

<道路管理区分>	確定線	-----	1
	想定線	-----	1
	準未実測が未実測に落ちる路線	-----	1
	単位区間割	-----	1
	路線番号	-----	1
	単位区間割(事例)	-----	3
	路線名	-----	3
	境界杭	-----	3
	仮杭	-----	3
	起終点	-----	3
	距離標	-----	3
	中心線	-----	4
<幅員構成>		-----	4
<特殊構造物>	橋梁	-----	4
	横断歩道橋	-----	5
	トンネル	-----	5
	地下歩道橋	-----	5
	共同溝	-----	5
	キャブ	-----	6
<道路附属物>	ガードレール	-----	6
	側溝	-----	6
	植樹帯	-----	6
	照明灯	-----	6
	道路標識	-----	6
<行政界>		-----	6
<踏切>	踏切	-----	6
<その他>	その他の道路	-----	7
	流雪溝	-----	7
	雨水柵	-----	7
	雨水マンホール	-----	7
	街渠柵	-----	7
	※ リサイクル材	-----	7
	ロードヒーティング(車道)	-----	8
	※ ロードヒーティング(歩道)	-----	8
	※ CCB・情報管路等	-----	9
	※・・・道路管理センターからのプロッタ出図に記入		

札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示（物件データ）		転記等の必要性	備考
大分類	データ項目		表示形式	色		
道路管理区分	道路区域 確定線	素図・敷地図・台帳図	—————	赤	有	実測 -- 59年以降実施された新認定・区画整理・開発行為・確定測量を使用して作成した台帳図（※現況が区域からはみだすものは協議）
	道路区域 想定線	〃	—————	オレンジ	有	未実測路線については、現況線を区域線として扱う。
	準未実測が未実測に落ちる路線	〃	—————	茶	有	別紙詳細事項による。
	単位区間割	敷地図・1/5,000網図 現況調査票	-----	青	有	1) 十字路以上の交差部 2) 特殊構造物の箇所 3) 舗装区分の変化点 4) 図郭線 5) 異なる道路管理者の管理区分 6) 踏切 7) 行政界（市界・区界）区界が河川の中心で橋梁の中間に入る場合は、橋梁の始末端とし、橋梁部は、橋梁を管理している区で扱い、2つに分割しない。
	路線番号	敷地図・1/5,000網図 現況調査票		青	有	<p>全巾員15m以上の幹線道路は、道路中央部に記入する。 （中央部に分離帯があるものは、北側又は、東側の車道部に記入）</p>  <p>単位区間割ごとに引き出し線を引き路線番号を記入する。 15m未満の道路は、道路区域線から1.5cmの部分に引き出し線を道路と平行に上げ記入する。 路線番号のコード体系は、次ページ要領に順ずる。 又、重用交差部及び重用路線は、重用路線番号（ ）書きとする。 ※札幌市の路線番号は、次ページ表のとおり体系づけられており、これらの路線番号から道路種別1～6専用区分の0～4を区分することが可能である。</p>

札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示（物件データ）		転記等の必要性	備考																																																		
大分類	データ項目		表示形式	色																																																				
道路管理区分	1) 道路種別		2) 専用区分		国道・札幌市路線番号体系																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高速自動車国道</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>一般国道 指定区間</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>指定区間外</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>主要道道</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>一般道道</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>主要市道</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>1級市道</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2級市道</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>その他市道</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	コード	高速自動車国道	1	一般国道 指定区間	2	指定区間外	3	主要道道	4	一般道道	5	主要市道	6	1級市道	7	2級市道	8	その他市道	9		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般道</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>自動車専用道</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自転車歩行者道</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自転車専用道</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>歩行者専用道</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	コード	一般道	0	自動車専用道	1	自転車歩行者道	2	自転車専用道	3	歩行者専用道	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>路線番号</th> <th>路線の区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0001～8999</td> <td>各区単独の一般路線</td> </tr> <tr> <td>9000～9199</td> <td>歩行者専用道</td> </tr> <tr> <td>9200～9449</td> <td>自転車・歩行者専用道</td> </tr> <tr> <td>9450～9499</td> <td>自転車専用道</td> </tr> <tr> <td>9500～9899</td> <td>複数区にまたがる路線</td> </tr> <tr> <td>9900～9999</td> <td>主要市道</td> </tr> <tr> <td>道道路線番号一覧表による</td> <td>一般・主要道道</td> </tr> <tr> <td>国道路線番号一覧表による</td> <td>指定区間</td> </tr> </tbody> </table>		路線番号	路線の区分	0001～8999	各区単独の一般路線	9000～9199	歩行者専用道	9200～9449	自転車・歩行者専用道	9450～9499	自転車専用道	9500～9899	複数区にまたがる路線	9900～9999	主要市道	道道路線番号一覧表による	一般・主要道道	国道路線番号一覧表による	指定区間
	区 分	コード																																																						
	高速自動車国道	1																																																						
	一般国道 指定区間	2																																																						
	指定区間外	3																																																						
	主要道道	4																																																						
	一般道道	5																																																						
	主要市道	6																																																						
	1級市道	7																																																						
2級市道	8																																																							
その他市道	9																																																							
区 分	コード																																																							
一般道	0																																																							
自動車専用道	1																																																							
自転車歩行者道	2																																																							
自転車専用道	3																																																							
歩行者専用道	4																																																							
路線番号	路線の区分																																																							
0001～8999	各区単独の一般路線																																																							
9000～9199	歩行者専用道																																																							
9200～9449	自転車・歩行者専用道																																																							
9450～9499	自転車専用道																																																							
9500～9899	複数区にまたがる路線																																																							
9900～9999	主要市道																																																							
道道路線番号一覧表による	一般・主要道道																																																							
国道路線番号一覧表による	指定区間																																																							
	※一般国道指定区間外は北海道に該当せず		3) 地区コード 複数区00は使用せず各区単位で区コードを付ける																																																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>コード</th> <th>区 分</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央区</td> <td>010</td> <td>豊平区</td> <td>050</td> </tr> <tr> <td>北区</td> <td>020</td> <td>清田区</td> <td>055</td> </tr> <tr> <td>東区</td> <td>030</td> <td>南区</td> <td>060</td> </tr> <tr> <td>白石区</td> <td>040</td> <td>西区</td> <td>070</td> </tr> <tr> <td>厚別区</td> <td>045</td> <td>手稲区</td> <td>075</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	コード	区 分	コード	中央区	010	豊平区	050	北区	020	清田区	055	東区	030	南区	060	白石区	040	西区	070	厚別区	045	手稲区	075																													
区 分	コード	区 分	コード																																																					
中央区	010	豊平区	050																																																					
北区	020	清田区	055																																																					
東区	030	南区	060																																																					
白石区	040	西区	070																																																					
厚別区	045	手稲区	075																																																					
			※ 国道・高速自動車国道は 000 とする																																																					
			4) 路線コード		<p><札幌市の事例></p> <ol style="list-style-type: none"> 一般国道5号の指定区間 20 000 0005 主要道道札幌環状線（東区内） 40 030 0809 一般道道西野白石線（豊平区内） 50 050 5453 一般道道滝野上野幌自動車道線（南区内） 53 060 0814 主要市道真駒内篠路線（中央区内） 60 010 9900 ※ダブルウェイ もみじ台歩道18号 94 045 9001 もみじ台歩道1号 92 045 9207 																																																			
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>コード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線番号</td> <td>××××</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	コード	路線番号	××××																																																	
区 分	コード																																																							
路線番号	××××																																																							

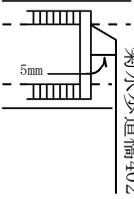
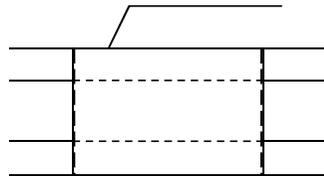
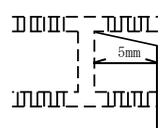
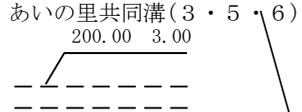
札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示（物件データ）		転記等の 必要性	備 考
大分類	データ項目		表示形式	色		
道路管理区分	単位区間割					<p>事例</p> <p>道路基準線が道路中心より片寄っている場合</p> <p>鋭角の交差部はT字路と判断し区間割</p> <p>※道路基準線が片寄りしている場合も各重用部の隣切を結び区間割を行う</p> <p>T字路部で左図のように線上重用の場合のみ区分する</p> <p>※交差部起終点の場合は、優先路線の区域で区間割を行い交差部においても区分割を行う</p> <p>複雑な交差部は、変化部が完了したヶ所で区切る</p> <p>B/2 < A・T字路扱い B/2 > A・十字路扱い</p> <p>想定線 実測済</p> <p>想定線・実測済の接合部は区間割を行う</p>
	路線名	1/10,000道路網図 及び現況調査票	主要市道真駒内 篠路線 国道15号線	茶	有	<p>地形編の地番レイヤーで表示するもの（定義）道路種別の1～6（高速自動車国道・一般国道・道道・主要市道）に該当する路線は図葉単位の中央部に路線番号と同要領で引き出し線を記入し路線名のみ表示する。</p> <p>道路編の道路管理区分レイヤーで表示する路線名で図葉単位の中央部に路線番号の後に記入する。又、地形編の地番レイヤーで表示する1～6項については、だぶらない位置に表示する。</p>
	境界杭	素図		黒	有	素図上表示済み（台帳図に記載されているもの全て表示）
	仮杭	素図		青	有	実測済みでありながら確定線の各折点に境界杭のない場合は、各折点に仮杭を表示する。
	起終点	敷地図 1/5,000道路網図		青	有	<p>図郭線 </p> <p>起点は上の図葉に表示 終点は下の図葉に表示</p>
	距離標	国道台帳図		青	有	<p>国道台帳図の最新のもののみ表示されている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">KP</div> 43km 国道のみ

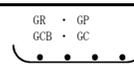
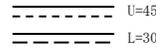
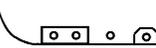
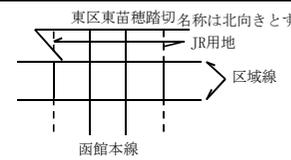
札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示（物件データ）		転記等の必要性	備 考	
大分類	データ項目		表示形式	色			
道路管理区分	中心線	国道台帳図	———	青	有	測点の表示はしない。	
幅員構成	車道範囲	素図			無	道路区域≠道路部	
	幅員	台帳図・現況移動調書		青	有	<p>道路区域≠道路部</p> <p>路面種別がAで記入されていても主要道路・主要市道都市計画街路以外はaとする</p> <p>※ 舗装種別は道路管理区分単位の中央部に表示し引き出し線を記入する</p>	
	歩道範囲	素図			無		
	幅員	台帳図・現況移動調書		青	有		
	中央分離帯範囲	素図			無		
	幅員	台帳図・現況移動調書		青	有		
	全幅員	台帳図・現況移動調書		青	有		
	法敷範囲	素図			無		
	切盛別	素図			無		
	法面保護の種別	素図			無		
							<p>道路区域＝道路部</p> <p>巾が狭く数字が入らない場合 (3.50未満)</p>
特殊構造物	橋梁範囲	素図・橋梁台帳		黒	無	<p>区コード</p> <p>橋梁番号</p> <p>分割（橋梁台帳で判断する）</p> <p>40 001 0</p> <p>望月寒5号橋</p> <p>23.28 7.50</p> <p>5m</p> <p>札幌市現在の番号体系</p> <p>2 094 2 106 一般市道の場合</p> <p>橋梁番号</p> <p>区コード</p> <p>2 5 05 道道の場合</p> <p>橋梁番号</p> <p>道道区分</p> <p>区コード</p> <p>(幅員は地覆を除く)</p> <p>国道</p> <p>各国道のルート番号+橋梁番号</p> <p>例</p> <p>2 3 0 0 3 0 1</p> <p>↑ 橋梁番号</p> <p>↑ 国道ルート番号</p>	
	名称						
	橋梁番号						
	延長						
	幅員						
	高架部範囲				黒		
						札幌市及び国道は、全て橋梁扱い。	

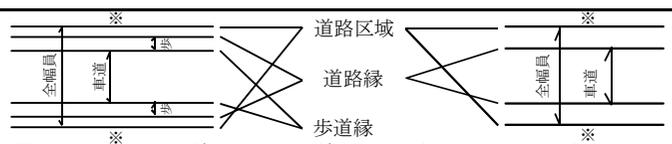
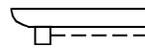
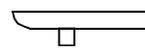
札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示（物件データ）		転記等の必要性	備考															
大分類	データ項目		表示形式	色																	
特殊構造物	横断歩道橋	素図		黒	無	 <p>札幌市現在の番号体系</p> <table border="0"> <tr> <td>主要道道</td> <td rowspan="2">} 400</td> </tr> <tr> <td>主要市道</td> </tr> <tr> <td>一般道道</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>市道1級</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>市道2級</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>市道その他</td> <td>800</td> </tr> </table>	主要道道	} 400	主要市道	一般道道	500	市道1級	600	市道2級	700	市道その他	800				
	主要道道	} 400																			
	主要市道																				
	一般道道	500																			
	市道1級	600																			
	市道2級	700																			
	市道その他	800																			
	名称	素図		黒	無																
	横断歩道橋番号	横断歩道橋台帳		青	有																
トンネル			黒	無	 <p>南沢トンネル 基図は、L・Wを表示する。</p>																
名称			黒	無																	
トンネル番号			青	有																	
地下歩道橋			青	有	 <p>415 南19条橋地下歩道橋</p> <p>管理番号に地上・地下の区分はなし。 L・Wの順で表示する。</p>																
名称			青	有																	
地下横断歩道番号			青	有																	
延長																					
幅員																					
共同溝	竣工図		青	有	 <p>あいの里共同溝(3・5・6) 200.00 3.00</p> <p>中の広いものは、施設の中</p> <p>公益事業者コード</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="4"><u>公益事業者のコード体系</u></td> </tr> <tr> <td>1 道路</td> <td>4 ガス</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 上水</td> <td>5 NTT</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 下水</td> <td>6 電力</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<u>公益事業者のコード体系</u>				1 道路	4 ガス			2 上水	5 NTT			3 下水	6 電力		
<u>公益事業者のコード体系</u>																					
1 道路	4 ガス																				
2 上水	5 NTT																				
3 下水	6 電力																				
名称	竣工図		青	有																	
公益事業者名	竣工図		青	有																	
延長	竣工図		青	有																	
幅員	竣工図		青	有																	

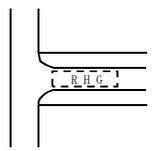
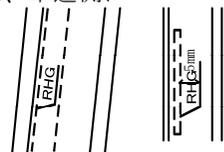
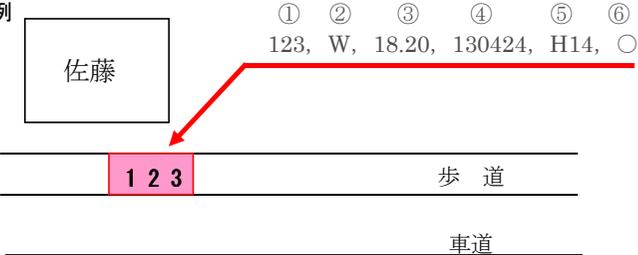
札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示（物件データ）		転記等の必要性	備考
大分類	データ項目		表示形式	色		
特殊構造物	キャブ	竣工図		青	有	<p>大通りキャブ30 道路区域外5mm</p>  <p>◎1施設1ヶ所の引き出し線とするが図葉が二図葉になる場合同じ項目（名称・番号・延長・幅員）を表示。</p> <p>◎途中に多孔管が布設されていてもデータは切らず1つの施設で扱う。</p> <p>管理番号現在なし</p> <p>多孔管</p> <p>公益事業者コードは共同溝同様</p>
	名称	竣工図				
	延長	竣工図				
	幅員	竣工図				
	公益事業者名					
道路附属物	ガードレール	素図			無	
	側溝	素図			無	有蓋・無蓋の区分を必ず行う。
	植樹帯	素図			無	
	照明灯設備番号	素図・設備番号一覧		青	有	単独柱のみ番号表示。 新設されまだ管理番号がない場合は9999と表示する。
	道路標識	素図・標準断面図		青(基礎)	有(基礎)	短辺基礎部が2mを超えるものは、破線表示。
行政界	市町村界	素図			無	 <p>南11条西13丁目</p> <p>極力、道路部を跨がぬ位置に表示する。すでに跨いでいるものは位置の変更を行い、ラインで移動ヶ所表示。</p>
	名称	素図			無	
	政令指定・特別区界	素図			無	
	名称	素図			無	
	条丁目・町名	素図			無	
踏切	踏切	台帳図 踏切道現況移動調書		青	有	<p>東区東苗穂踏切名称は北向きとする</p>  <p>JRの用地を結び踏切の面とする (道路台帳の定義とは異なるので注意)</p> <p>区域線</p> <p>函館本線</p>

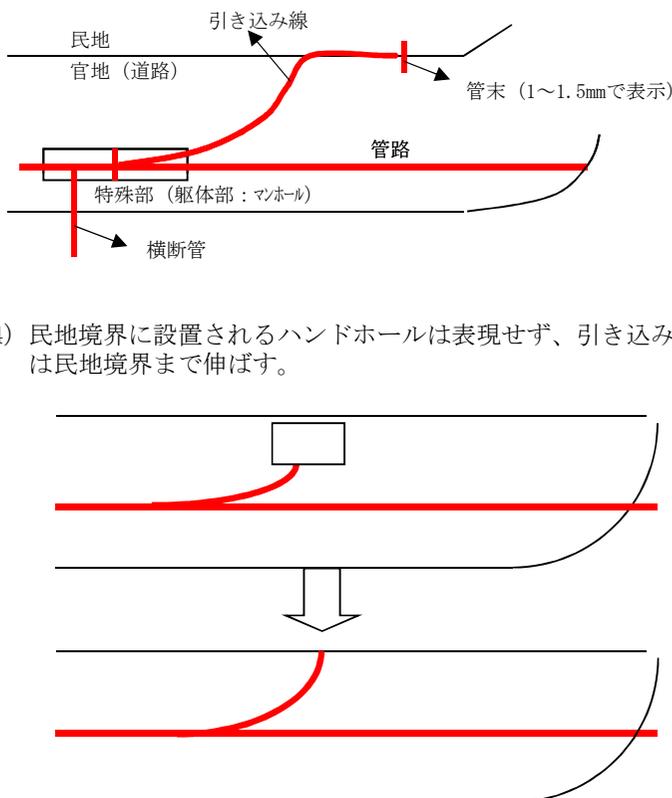
札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示（物件データ）		転記等の必要性	備 考
大分類	データ項目		表示形式	色		
その他	その他の道路		マーク表示※	青	無	 <p>上図のように※歩道幅員+車道幅員≠全幅員又は、全幅員≠車道の場合は空白部がある為現況道路幅員寸法線の上に、※を表示 図上0.5mm(25cm)以下の空白地は※を省略する(P10-3)</p>
	流雪溝	竣工図		青	有	 <p>旗上げは道路区域外5mmの部分とする。</p> <p>管のセンターを1本線で表示 投雪口</p>
	雨水管	不明	Ⓡ—Ⓡ	青	有	国道のみ対応するが資料なし。台帳図にあるものは転記
	雨水枿	素図・国道台帳図	□	外周黒で 中を青で 塗り潰す	有	
	雨水マンホール	素図・国道台帳図	Ⓡ	外周の丸 を黒でR の記号を 青とする	有	資料不明 一部台帳図記入されているものあり 基本図作成時は Ⓜ の表示とする。
	街渠枿	素図		黒	無	□ --- 2mm
	※ リサイクル材	プロッタ出図に表示			赤	有

札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示形成（物件データ）		転記等の必要性	備 考													
大分類	データ項目		表示方法	色															
その他	ロードヒーティング （車道）	竣工図（車道）		青	有	<p>竣工図より車道部のロードヒーティングの範囲を区域線で囲み種別表示する。</p> <p>種別区分 ガス RHG 電力 RHE 地下鉄排熱 RHS 温水 RHW（温泉・地下水・灯油含む）</p> <p>区域の長いものは、最大10cm単位で区分をし種別表示する。 巾、図上1cm以上の施設は、中央に未満は、車道側に</p> 													
	※ ロードヒーティング （歩道）	竣工図（歩道）	右下の 表示例参照	赤	有	<p>歩道部のロードヒーティング設置位置、面積を確認し、プロッタ出図に赤ボールペンで該当箇所を囲い当該年度指定色（都度支部から指示）で塗りつぶす。</p> <p>確認のため作図図形内に許可番号を記載。記載できない場合は直上に記載のこと。</p> <p>旗上げにて下記の項目①～⑥まで赤ボールペンで記入。</p> <table border="1" data-bbox="1332 885 2094 1157"> <thead> <tr> <th>属性項目</th> <th>記入方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 許可番号</td> <td>○○○○（英数字3桁 OR 4桁）</td> </tr> <tr> <td>② 種別</td> <td>方式を記入 温水→W 電気→E</td> </tr> <tr> <td>③ 面積</td> <td>○○.○○㎡</td> </tr> <tr> <td>④ 許可年月日</td> <td>○○年○○月○○日（和暦6桁で記入）</td> </tr> <tr> <td>⑤ 占用期間</td> <td>090331→H9 140331→H14 190331→H19</td> </tr> <tr> <td>⑥ 補助金有無</td> <td>1：有 2：無</td> </tr> </tbody> </table> <p>表示例</p> 	属性項目	記入方法	① 許可番号	○○○○（英数字3桁 OR 4桁）	② 種別	方式を記入 温水→W 電気→E	③ 面積	○○.○○㎡	④ 許可年月日	○○年○○月○○日（和暦6桁で記入）	⑤ 占用期間	090331→H9 140331→H14 190331→H19	⑥ 補助金有無
属性項目	記入方法																		
① 許可番号	○○○○（英数字3桁 OR 4桁）																		
② 種別	方式を記入 温水→W 電気→E																		
③ 面積	○○.○○㎡																		
④ 許可年月日	○○年○○月○○日（和暦6桁で記入）																		
⑤ 占用期間	090331→H9 140331→H14 190331→H19																		
⑥ 補助金有無	1：有 2：無																		

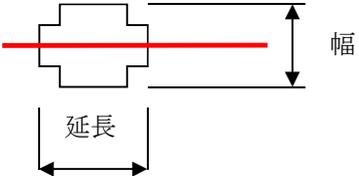
札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示形成（物件データ）		転記等の必要性	備考
大分類	データ項目		表示方法	色		
道路管理区分	※ CCB・情報管路等 プロッタ出図に表示	竣工図 埋設管路収容形態図		赤・・ 電送ルート 青・・ 通信ルート	有	<p>竣工図より管路・管末・特殊部の作成及び属性の旗上げを行う。 管路・管末・特殊部及び属性の旗上げを電送ルート（電力系）は赤色、通信ルート（通信系）は青色に区分して表示する。</p> <p>管路</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 工事年度・管路条数・引込線終端部にテック線を記入してデータの変化部を明確にする。 2) 特殊部内は、見通しで管路を連続させ分岐部を明確にする。 3) 主管路および引き込み管路終端に垂直に引いた実線により「止め」を表現する。  <ol style="list-style-type: none"> 4) 民地境界に設置されるハンドホールは表現せず、引き込み線は民地境界まで伸ばす。

札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示形成（物件データ）		転記等の必要性	備考																
大分類	データ項目		表示方法	色																		
道路管理区分	※ CCB・情報管路等 プロッタ出図に表示	竣工図 埋設管路収容形態図		赤・・ 電送ルート 青・・ 通信ルート	有	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 管路属性情報 工事年度・条数・共同溝の変化部でそれぞれ旗上げする。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">路線名称</th> <th style="text-align: center;">4</th> <th style="text-align: center;">2003</th> <th style="text-align: center;">8</th> <th style="text-align: center;">1.50</th> <th style="text-align: center;">3.20</th> <th style="text-align: center;">1.80</th> <th style="text-align: center;">1.83</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-top: 1px solid red;">情報管路種別</td> <td style="border-top: 1px solid red;">建設年</td> <td style="border-top: 1px solid red;">条数</td> <td style="border-top: 1px solid red;">延長</td> <td style="border-top: 1px solid red;">幅</td> <td style="border-top: 1px solid red;">高さ</td> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid red;">深さ（土被</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>1) 情報管路種別 ①CCB／電送ルート・通信ルート共同収容形態 ②GCB／自治体管路 ③ICB／情報ボックス ④CCB-T／通信単独ルート（通信特殊部迂回ルート等） ⑤CCB-E／電送単独ルート（電送特殊部迂回ルート等）</p> <p>2) 建設年 ①工事年度とする。工事暦が明確できないため年度末の西暦を記入 例：平成13年度工事は完成を14年3月で2004と記入</p> <p>3) 条数 竣工平面図の略図および管路断面図を参考に、管路内の管の本数を表示する。</p> <p>4) 延長 ①竣工平面図又は縦断面図より特殊部内延長（外形）を含まない埋設延長を記載する。 ②管体を含む延長が記載されている場合は標準施工図（無い場合はスケールアップ）により管体寸法を減ずる。 ③胴締め部では情報を切らない。 ④工事年度、条数、共同溝の変化部もそれぞれ旗上げする。</p> <p>5) 幅・高さ 管路図断面より記入。 （数値表記の無い場合は縦断面図よりスケールアップ可）</p> <p>6) 深さ（土被り） ①縦断面図より旗上げする区間の最小値を記入。 ②工事図書が不明等で数値記入できないときは「-」を記載。 *確認したことを明確にするため</p>	路線名称	4	2003	8	1.50	3.20	1.80	1.83	情報管路種別	建設年	条数	延長	幅	高さ	深さ（土被	
路線名称	4	2003	8	1.50	3.20	1.80	1.83															
情報管路種別	建設年	条数	延長	幅	高さ	深さ（土被																

札幌市入力原稿図作成要領（道路編）

入力データ項目		使用する資料	表示形成（物件データ）		転記等の必要性	備考
大分類	データ項目		表示方法	色		
道路管理区分	※ CCB・情報管路等 プロッタ出図に表示	竣工図 埋設管路収容形態図		赤・・ 電送ルート 青・・ 通信ルート	有	<p>7) 情報管路名称 個々の旗上げに情報管路名称を都度記載することで情報が煩雑になる場合は記入せず、1図葉1路線の場合図葉右上に名称を記入し、複数ある場合はその境を明確に区別できるようおおよそのエリア内に記載する。 情報管路名称は、路線名称とする。</p> <p>8) その他 ①管路／1本線とする。 ②管路属性は本線および横断線とし、引込み線は表示しない。</p> <p>特殊部</p> <p>①資料に基づき管体の外周を真形で記入する。 ただし、マンホール・制御盤等地上構造物は表現しない。 ②管体延長・幅は詳細図より、高さ・土被りは縦断面図より記入する。（スケールアップ可） ③管体が変形している際はそれぞれの最大値を記入。</p>  <p>④情報ボックス用ハンドホール（300φ）は2mm角で表現する。 （入力時も占用物件のマンホールより小さい□で表現）</p> 